①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・生活の中で「長い」「短い」という言葉を使っている。

・紙テープの端と端をそろえ，セロテープでつなぐことができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・2本の同じくらいのなわとびを引っ張り遊ぶ経験をしている。

教材研究ノート№1-C-1

≪学習問題≫

2人でじゃんけんをします。

勝った人は右のような紙テープを

もらって，つないでいきます。

どちらが長くなるかな。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

グー

チョキ

パー

もらえるテープ

②見通し:テープが丸まってしまうから，比べられないよ。

→2人でテープの端をもって，ピンとのばせばよい。

②学習課題:つなげたテープをのばして，ながさをくらべよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究:操作をしたことを自分の言葉で説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どうやって長さを比べたのか，お話ししてください。」

→「床の上に，2人のテープを並べ

ました。私の方が長いです。」

「私たちは，重ねて比べました。」

④共同追究後半（ゆさぶり）

「誰が一番長いのかな？」

→「端をそろえないと

わからない。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・ながさをくらべるときは，はしをそろえて、まっすぐのばして、ならべるとよい。

⑥定着･活用問題

(1) 先生がくばるテープと，じぶんのテープの

ながさをくらべましょう。

(2) 2人で，ながさをくらべましょう。

・えんぴつ　　・けしごむ

**![MCj02909340000[1]]()**

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・課題把握では，日常経験を基にした比べ方のポイントを，子どもの言葉を大切に取り上げたい。

・テープの長さを比べたり，定着問題でえんぴつの長さを比べたりすることを通して，直接比較，間接比較の経験を多く積ませ，「長さ」の意味を確認させたい。

・共同追究では，比べることができない理由を考えさせる中から，「端をそろえれば長さが比べられる」ことをおさえたい。

【板書計画】